

四万十市文化複合施設(仮称)管理運営基本計画

ワークショップかわら版 vol.2

まだまだ厳しい暑さの残る 9 月 3 日（火）、中央公民館 1 階大会議室にて「四万十市文化複合施設(仮称)管理運営基本計画検討第 2 回市民ワークショップ」を開催しました。今回は市民参加者 3 2 名、(男性 7 名、女性 2 5 名)、市の事務局スタッフ 6 名、その他の事務局スタッフ 4 名、合計 4 2 名での開催となりました。第 2 回目のワークショップは「市民ができることを考える」をテーマに、第 1 回WS の検討を踏まえ、そこに市民がどのように関わりたいかについて、意見交換を行いました。今回初めての参加者も加わり、10 代から 80 代まで幅広い年代の皆さんにより「市民ができること」について、様々な視点からの幅広いご意見がそれぞれの班でまとめられました。ワーキングの中は、まだ出来ていない施設での活動をイメージしにくいといった声も聞かれましたが、発表では多くの班に共通して、現在市内で活動している市民サークルや団体のネットワークやマンパワーを活かすことを前提とした提案がありました。特に市民参加の方法については、人員募集の方法をはじめ「(一部の人の意欲だけに頼らない) 持続可能な参加のあり方」について活発な議論がなされていました。次回はよいよ最終回です！

第 2 回「市民ができることを考える」

4 つの班にわかれ、参加者の皆さんと「運営への参加」「事業への参加」「施設評価への参加」「施設への要望」など、市民参加の具体的な方法や意見を書いたふせんを使ってまとめたワークシートをもとに、班ごとに発表を行いました。

A 班



市民主催のランチタイムコンサートを企画したり、市民で施設のニュースレターを作り、広報活動を行うなど、市民主体となって実施可能なアイデアが多く出されました。

運営については、持続可能な市民ボランティア組織を望む意見や、地域の高校生に影アナウンスをしてもらうなど、高校生の事業参加についても提案がありました。

B 班



複合施設の運営について、施設内で子育て支援センター等の運営の一部分を市民団体が運営することが可能なのではないかという意見や、市民企画事業を事業の 1 つとして行うなどの意見が挙がりました。

参加した高校生からは、実習で作っている食べ物や飲み物を施設で販売したり、職業体験の機会ができればよいなどの意見が出ました。

C 班



市民参加の促進方法として、市民ボランティア育成プログラムを設け、もぎりや案内等の研修を企画することや、ポイント制度を設け、参加者にポイントを付与し、観劇や施設利用等で使用可能な地域通貨のようなシステムを作ってはどうかという意見が出ました。運営評価については、市民が指定管理者の監査を行う提案も出されました。

D 班



市民ボランティア組織を作り、募集チラシや人材募集の掲示板などを活用して市民登録者を募り、スキルアップ研修なども行ってはどうかという意見や、劇場運営に関わる市民や団体を対象としたチケット早期予約や会報の発行などの提案が出されました。また若年層の利用促進の為、託児室や講座の充実を望む意見もありました。

※皆さんから出たご意見(ワークシートのふせん内容)の全てを裏面に記載しています。

●四万十市文化複合施設(仮称) 管理運営基本計画とは？

昨年度策定した「基本計画」は、四万十市総合計画などの市全体に関する施策を踏まえ、「運営計画（ソフト計画）」と「施設計画（ハード計画）」の両面の基本的な方針を明らかにし、整備の指針や考え方を示すものです。今年度は、基本設計（ハード計画）が進められますが、並行して、事業や管理運営などのソフト計画の第一歩として管理運営基本計画により「施設でどんな活動を行うか」「施設をどのように活かすか」の方針を示し、実現のための条件整理を行います。この方針は、次年度予定している具体的な管理運営実施計画を策定するための基礎となります。

●市民ワークショップの管理運営基本計画策定への関わりは？

設計、管理運営計画の検討は文化施設や文化活動、まちづくりなどに関する代表者等で構成する「四万十市文化複合施設整備検討委員会」によって行われます。四万十市では、この委員会による検討に、できる限り市民意見を反映させたいと考えています。市民ニーズや地域の生の声を反映させるために実施するのがこの市民ワークショップです。市民ワークショップの大切な役割は、市民同士で意見を重ね、様々な立場からの声を集約して「整備検討委員会」に届けることです。

☆☆ひとことアンケートの一部をご紹介します☆☆

- 年代、立場により、思いや考えが違いとても勉強になった。共通している事は“新しい施設を良いものにしたい”という気持ちなので、お互いすっきりするまで声を出し、良いもの、新しい施設を作りたいと思います。
- 最初は少しネガティブになっていたけど、できることを考えているうちにポジティブになり、“たのしそう”という雰囲気変わって、この施設の完成がすごく楽しみです。住民の方々がすごくやさしくて四万十市がもっと好きになりました。“市民の声を大切に”地域に寄り添える人になりたいです。
- 設計図みんなの意見を聞き使いやすいものを作って欲しい。
- 普段あまり考えてない事がいろいろ聞けました。少し考えが広がりました。
- 前回の話の中で「カフェが欲しい」という意見に賛成で、少し長居してもいいような場所があればと思いました。そこで手伝い(バイト)などを学生がするのもいいと思いました。
- テーマが難かしく、イメージがわきにくかった。少しずつみんなが打ちとけていけるように何度もワークショップをして作り上げていけるといいな。
- どの班もそれぞれ素晴らしい発表でした。また関わらせていただきます。

次回の開催予定

第 3 回：11 月 5 日（火）

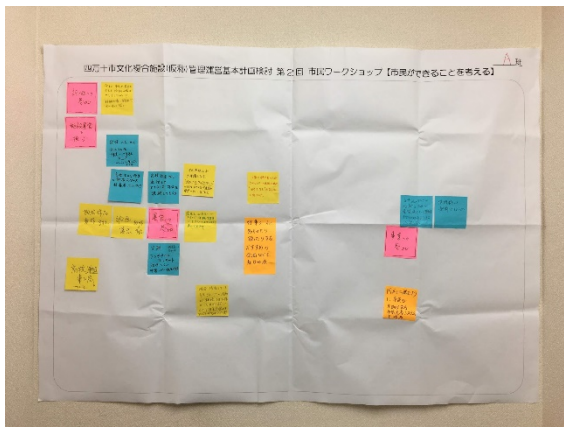
18 時 30 分～20 時 30 分
四万十市立文化センター 1 階大会議室
「新しい施設の使い方を考える」

《作成・発行》
四万十市企画広報課
文化複合施設整備推進室
& 空間創造研究所

令和元年 9 月

皆さんからいただいた全てのご意見(ワークシートのふせん内容)です。

A 班



【評価への参加】

今まで市民が意見を言える評価の場はありませんでしたか？評価の場(委員会?)ぜひ作って欲しい

【施設運営を担う】

出張としょかん、おはなし会、保育⇄ご年配といっしょに楽しむような……。／高校生など学生の勉強スペース 指導者ボランティア／

高校放送部と連携してアナウンス、司会を経験してもらう／中村高校生が大活躍している“四万十ウルトラマラソン”のようなボランティア運営が理想の形と存じます／大阪の移住者の人が文化センターに来所した時に“おもてなし”が足りないと言っていた

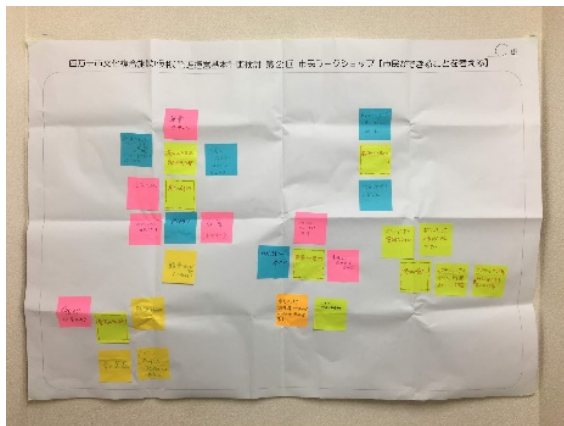
【運営への参加】

陶芸作品制作手伝い／絵画制作の展示手伝い／高校連盟事務局をつくる／陶芸を20年位していますので体験学習等でお手伝いさせてもらう事はできます／(演奏者として、参加者) 定期ランチタイムコンサート 30分位 中響・ピアノ教室の先生／行事を人に知らせたり誘ったりする。おすすめの企画などを知らせる／現在活動している市民グループの活動が継続してできるようにしてあげて欲しい。小さな自主企画はたくさん行われています

【事業への参加】

自分達のサークル活動なるべく希望通りに使用していけるようにしてほしい／使用料は無料でしょうか／円かつに進むように市民も手助けする。手伝えるシステムを作る

C 班



【運営への参加】

施設に行っているボランティア歌・演奏・踊り→ホールに来てもらってボランティア／運営スタッフ／裏方のお手伝い 舞台照明・音響／衣裳や用具のリサイクル リュース／点字プログラム／町中のポスター看板を設置／PRの参加／広告(美術部)／観光ガイド育成(小京都)

【集客の仕掛け】

勉強(小学生の)／紙芝居／ブース キッチンカー 飲食スペース(週変わり)／防災植物

【事業への参加】

子どもたちにリハーサルの招待／体験事業への参加／市民の作品発表展があればサークルで参加出来る／チケットの販売手伝い／素晴らしい演奏家に来てもらう

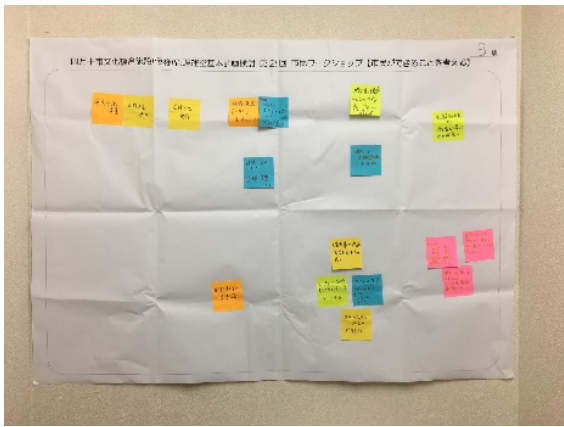
【評価への参加】

使いにくいところの具体的な指摘／指定管理者の監査

【参加の販促】

ボランティアの登録システム／ボランティアの育成プログラム／ボランティアのポイント制度 マイレージ制度／ポイントの利用→施設利用料金への活用

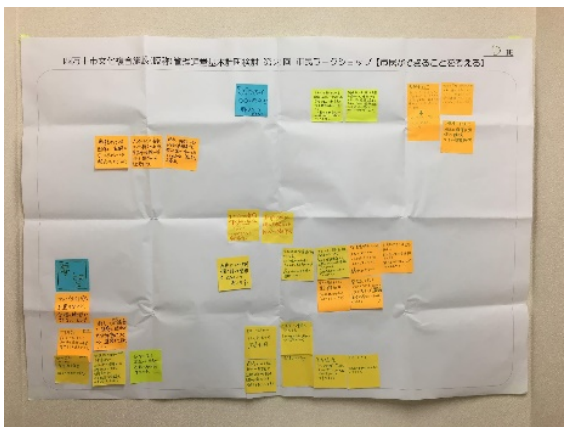
B 班



市民企画事業／芸能人を呼ぶ／SNSで発信／施設運営(一部)全体ではない ←NPO の子育てセンターなどで一部運営／技能・資格を持った照明音響の方／ボランティアの交流会／職業体験としての市民参加が出来れば／陶芸の体験教室のお手伝い／施設利用者が全て責任持ってやれば良い／幡多農で作った商品も売れたら良い／カフェの委託(できると信じて)をうける／カフェの運営 地元のものをつかったジュース ケーキ／スターバックスコーヒー

がほしい／例えばヨガ、手話、料理、等々指導者の研修が必要だと思う／陶芸の技術を高めるため、研修の場を設けてもらえれば参加したい／俳句、短歌などのサークルにある程度著名な講師を呼ぶ

D 班



華道をやっている団体に、玄関のホールデコレーを頼むのはどうか／大ホールでの劇やコンサートをやる時、育児中の母親が安心して預けられる託児サービス／現状利用している人は殆ど高齢です。若い人達が参加したくなるような「教室？」を募る／「〇〇をやるので〇〇ができないか」と聞かれないとできない／ボランティアの組しきをつくり(新施設内で活動する為の)学習を重ねて、市民参加を確実なものにつくっていく。この組しきは市民だけの組しきにして、活動につなげて行く／新施設により楽しく気軽に参加できる場所になるように広く意見を募集するためのアンケート用紙を各公共施設に置いてみてはいかがでしょうか

【高校生として】

キッズスペースができるのであれば、子どもたちのお世話をする部屋の清掃をするといったボランティア活動→地域住民と関われる、人生の経験の1つになる／地元の学校、団体の部活動、課外活動などを生かして施設のアピール(書道パフォーマンス、かんばん、チラシ作り)／<鑑賞・交流>地元の教室や団体の講演→その情報提供

サークルからの要望をどの様にどこに届けることができるか話し合う／利用するサークル間の代表者による話し合いの場を作る／民踊、ダンスの(中間全員で話して意見を聞いてみたいと思います。)／文化施設利用団体のデータ集(活動場所や日時や内容あると申込考えやすい)←申込はれんらくさきに直接か事務所けいゆ?／サポーター団体(?)(入場料あってもよし)チケット早期受付とか会報とかでイベント情報しれるとか。(土佐清水の文化センターでやってるやつ)／人員募集けいじばん(スタッフほしいとかスキルもってる人に力かしてほしいとか)募集チラシでもいい／スキルアピールリストほしい。(こんなことができます!というやつ能力生かしてほしい人がたのめるやつ)／市民が運営するなら運営事務所ほしい(文化施設じむしょの片すみでもいいので)／登録スタッフ(ボランティア)(研修ある)←スキルアップ研修も定期開催(希望作業とかのデータもあるやつ)／FB・ツイッター、インスタなどの運営利用／してほしい演目のリクエスト(よんでくる力がなくてもみたいものの意見だしたい)／(カフェ)きっさてんは地元商品扱うとか障害者や就職活動の就労支援の場としても活用できると思う／清掃ボランティア／写真提供(「～な写真」をこうふうに使いたいのでぼしゅうしています)というのに自らのとった写真を出す／たぐじサービス(スタッフこうほとうろくしておく方がいいのでは?)

【要望】

アップライトピアノを置けないと合唱の練習ができない。ぜひ!／新しいへや(会議室)で既存の団体が十分活動できるよう、運営して欲しい／ご意見箱(メール・手紙などで文化複合施設への希望質問などを送れるところ)／利用団体あつめた意見交換会(1回はやったほうがいいと思う)／仮施設会議室や小部屋少ない。ホール使うと楽屋にしてる部屋使えないとなると部屋足りない。〇〇教室とか講義できるとこもっとほしい／和室を作って茶道にも市民が気軽に参加できますように

※ご意見は基本的にワークシートのとおり掲載していますが、適宜誤字・脱字の修正を行っています。

2 時間を超える今回の市民ワークショップでは様々な立場の皆さんから、こんなに多くのご意見が出されました。
今回の検討をふまえ、次回は「新しい施設の使い方を考える」をテーマに話をしていきます。皆さんでワークショップを盛り上げていきましょう!